

**【施策評価調査】**

施策名	3-1-2	環境保全に取り組む人材の育成		96	政策「3-1.自然環境の保全と創造」を実現するためには、 ①高根沢町が守るべき自然環境とは何か？、またどのようにして高根沢町の自然環境を創造していくべきか？というビジョンを明確にし、ルール化 ②①で明確にしたビジョンを実現できる人材の育成 ③①で明確にしたビジョンを確実に運用できる仕組み作り…という3点からのアプローチが必要です。この施策は、②の観点から政策を実現させるために設定しました。
		※高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	住民生活部 環境課	担当	環境担当		自然環境基礎調査(指標生物調査)や環境基本計画の策定、「エコ・ハウスたかねざわ」における地球温暖化対策、省エネルギー教室などの環境学習、自然の素材を使った工作教室など体験メニューの開発・実施に携わる住民を、地域の環境保全活動のリーダーや環境学習の指導員として育成します。(※「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
		リーダー	竹澤 伸一		
環境変化	木や竹などの自然素材によるものづくりグループ『木楽倶楽部』を発足。「マイ箸づくり」や木工教室の指導者、ボランティアとして活動してもらっています。				

**■指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標①:環境学習・体験指導員の登録者(人)	平成16年度 0人	計画	10人	20人	30人	40人	50人
		実績	↓ 5人	↓ 10人	↓ 16人	↓ 19人	
指標②:		計画					
		実績					
指標③:		計画					
		実績					
◆◇ 指標に関する特記事項 ◇◆	評価指標の計画数値は達成していませんが、登録者数は年々増加傾向にあり、順調に推移していると思われます。						

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	
	決算	10,000,000	10,000,000	10,289,365	10,069,300	

**■事務事業事後評価 21年度の検証**

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか？(アウトカム)			
①エコ・ハウスたかねざわ運営管理費 ※再掲	当初 10,000,000	利用者数	A	環境学習や自然の素材を使用した工作教室などの体験メニューをととして、環境保全活動に取り組む人材や指導員の育成につながりました。			
	決算 10,069,300	30,147人 / 20,000人		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
②	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
③	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
④	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
⑤	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

**■施策事後評価 21年度の検証**

自己評価	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
	総合評価	エコ・ハウスたかねざわで実施する環境学習や体験教室へボランティア活動として参加してもらうことで指導員の育成につながり、徐々にではありますが人材育成に効果がでていきます。  継続的に施策展開されていると評価する。 エコ・ハウスを前面に押し出した施策展開の中で、今までの取組みを検証し、より成果をあげるために、職員がすることで成果が上がることで、エコ・ハウスで行うことで成果が上がることを整理した上で、将来を見据え広い視点を持った、学習プログラム・人材育成プログラムが作成され、よりインパクトのある施策展開がされることを期待する。